

9月17日：VN指数は週末も続伸

出来高が増加し、ベトナム株は上昇した。しかし外国人投資家はホーチミン市場で1兆7,000億ドン（7,500万米ドル）超を売り越した。

ホーチミン市場のVN指数は0.5%（6.77ポイント）高の1,352.64ポイントだった。騰落別では280銘柄が上昇、126銘柄が下落した。

出来高は前日と比べ増加し、売買高は8億5,278万株を超え、売買代金も25兆9,000億ドンを超えた。

投資家心理が改善し、大型株の上昇が指数上昇の追い風となった。VN30指数は0.46%（6.61ポイント）高の1,455.59ポイントとなった。同指数採用銘柄のうち、16銘柄が上昇、13銘柄が下落、1銘柄は変わらずだった。

銀行株はマーケットの上昇をけん引した。中でもVPバンク（VPB）はVN30指数採用銘柄の中で最も上昇し、3.08%高の終値67,000ドンとなった。

ベトナム投資開発銀行（BID）、TPバンク（TPB）、テクコムバンク（TCB）は値上がり寄与度上位5銘柄となった。これらの上昇率は1.32～5.56%だった。

不動産銘柄のビンホームズ（VHM）もマーケットの上昇を支え、VN指数の続伸に貢献した。上昇率は1.37%だった。

しかし、依然として複数の大型株が利益確定売りにさらされ、マーケットに不透明感をもたらした。

値下がり銘柄では、マサングループ（MSN）は値下がり寄与度でトップとなった。終値は前日比2.54%安の146,000ドンだった。それに続き、ビンググループ（VIC）が1.14%安、ベトコムバンク（VCB）が0.92%安とそれぞれ売られた。

「資金流入による株価上昇は限られており、マーケットはレンジ相場を脱することができていない」（ベトドラゴン証券（VDSC）の投資家向けのデイリーレポート）

レンジ相場であるため、投資家は短期投資向けに銘柄を選別している。このことはマーケットが不確実性を抱えていることを示している。それゆえ投資家は取引を控え、来るべきチャンスに備えるのが良いだろう。

ハノイ市場の HNX 指数も 1.34% (4.73 ポイント) 安の 357.97 ポイントで取引を終えた。

売買代金は 4 兆ドンを超え、売買高は約 1 億 7,270 万株となった。

その一方で、外国人投資家はマーケットで売り越し続けた。両市場 (ホーチミン、ハノイ市場) での売り越し金額は合わせて 1 兆 2,700 億ドンとなった。

そのうち、ホーチミン市場で 1 兆 7,000 億ドン超を売り越し、ハノイ市場では 4388 億ドンを買い越した。

「一般的な投資家心理は守りにシフトしている」 (Maybank Kim Eng 証券 (MBKE) のマンスリーレポート)

「しかし、ベトナムのワクチン接種率は 2021 年第 4 四半期と 2022 年にさらに進む見通しから、10 月から国内の経済活動を再開させ、ベトナム経済は第 3 四半期の落ち込みから大きく回復することができると我々は予想する」 (同証券会社)

「ポジションを取る者にとっては、難しい時期だろう。しかし投資家にとって、これはとても割安な優良株を仕込むためのチャンスになると我々は信じる」 (同証券会社)

「感染拡大する新型コロナが経済に大きなダメージを与えた 9 月、マーケットは試練に直面するだろう。株式指数は長い間かけて下値を固めていくと我々も予想する」 (同証券会社)

「VN 指数は年末に 1,500 ポイントという我々の予想はそのまま据え置く。素材、不動産、銀行、小売といった景気敏感株を引き続き投資家に推奨する」 (同証券会社)

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に



帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。